

多剤耐性菌（CRE,MDRP,VRE,MDRA等） 発生時の感染対策 と

患者・患者家族説明Q&A集（VRE）の紹介 感染対策miniレクチャー

2025.12.19

健康安全研究センター

感染管理認定看護師

中村 貴枝子

多剤耐性菌症例/保菌者発生時の対応

2025年12月9日
東京都・特別区・中核市・政令市
保健所感染症対策担当者連絡会
菊地医師資料「多剤耐性菌の接触
的疫学調査」より

医療機関における院内感染対策について（平成26年 厚生労働省通知）

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tc0640&dataType=1&page

3-3. 介入基準の考え方及び対応

(1) アウトブレイクについては、各医療機関が3-1の定義に沿って独自に判断し、遅滞なく必要な対応を行うことが望ましいが、以下の基準を満たす場合には、アウトブレイクの判断にかかわらず、アウトブレイク時の対応に準じて院内感染対策を実施すること。この基準としては、1例目の発見から4週間以内に、同一病棟において新規に同一菌種による感染症の発病症例が計3例以上特定された場合又は同一医療機関内で同一菌株と思われる感染症の発病症例（抗菌薬感受性パターンが類似した症例等）が計3例以上特定された場合を基本とすること。ただし、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）及び多剤耐性アシネトバクター属の5種類の多剤耐性菌については、保菌も含めて1例目の発見をもって、アウトブレイクに準じて厳重な感染対策を実施すること。なお、CREの定義については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「感染症法」という。）の定めに準拠するものとする。

- ✓ CRE、VRSA、MDRP、VRE、MDRAの5種類の多剤耐性菌については、保菌も含めて1例目の発見をもってアウトブレイクに準じた厳重な対応が必要

アウトブレイク時の対応とは

2025年12月9日

東京都・特別区・中核市・政令市

保健所感染症対策担当者連絡会

菊地医師資料「多剤耐性菌の接触的疫学調査」より

薬剤耐性病原体アウトブレイクを調査し、対応するための 10 のステップ

(WHO 西太平洋地域 「医療施設における薬剤耐性病原体のアウトブレイクへの対応」より)

https://amr.jihs.go.jp/pdf/amroutbreak_wpro_guidance.pdf

- ①AMRアウトブレイクの認識と確認
- ②アウトブレイク管理チームの招集
- ③症例定義
- ④症例探索
- ⑤ラインリストと流行曲線の作成
- ⑥症例の情報収集、記述疫学、仮設の設定
- ⑦さらなる調査の検討
- ⑧感染対策の強化
- ⑨結果の確認と追加調査の実施
- ⑩対応の見直しと結果の報告

疫学調査

感染管理

事後対応

多剤耐性菌症例／保菌者の感染対策

接触予防策

- ・ 個室管理またはコホート管理
- ・ PPE着用（エリア内に入る時着用、出る時脱衣）
- ・ 物品の個人専用（共用物品は使用後消毒）
- ・ 環境整備、退院・転床時のターミナルクリーニングの徹底（カーテン交換含む） など

確認ポイント：入退室（エリア）時のPPE着脱（脱衣時の手指消毒の実施状況）、接触予防策が必要なことが誰にでもわかる表示



標準予防策

- ・ 手指衛生
- ・ PPE着用（体液・排泄物等体液に触れる場面）
- ・ 環境整備・リネン類の取り扱い
- ・ 共用物品の適切な処理管理 など

接触予防策：病室の扉は、閉めなくてよい？

接触予防策では扉を閉めておく必要はありません

扉を閉めていた場合と開けている場合での利点・注意点を考えてみましょう



Cpilotにて作成

利点：ドアノブに触れずに入室できる

注意点：隔離がイメージしにくく、PPE装着ないまま入室してしまう可能性あり



Cpilotにて作成

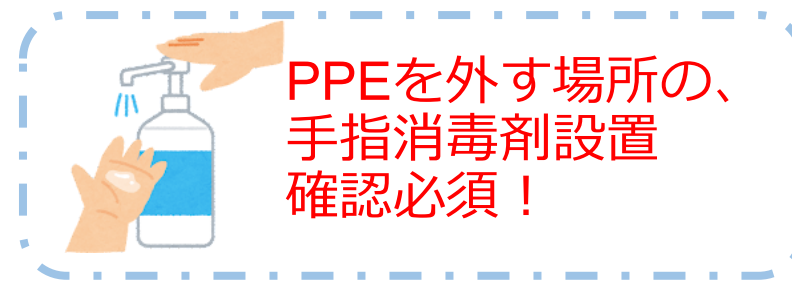
利点：隔離がイメージされ、PPEを付けないままでは入りにくい

注意点：外でPPEを付け入室の場合、手袋を付けたままドアノブに触れてしまう

PPEを付けたまま触れることが無いよう、扉を開けて運用している場合あり、PPE着脱状況確認留意

接触予防策：PPE脱衣時に個人持ちの手指消毒剤を使用してよい？

自身の衣類汚染が危惧されるため、個人用ではなく、設置の手指消毒剤を使用します



多剤耐性菌症例／保菌者発生時の**感染対策強化のポイント**

多剤耐性菌症例／保菌者が1例発生時には、すでに他の保菌者がいる可能性が高く、疫学調査、患者の感染対策と同時に、**標準予防策の実施状況確認と強化を行う**

手指衛生

手指衛生の実施状況確認

- 手指消毒剤の使用量
- 手指消毒剤の使用しやすい環境整備状況（配置や個人携帯など）
- 診療やケア時の手指衛生状況



おむつ交換

おむつ交換方法等の確認

- おむつ交換手順（対応人数）
- PPE着脱状況
- おむつカートの運用状況
- 陰部洗浄ボトル等の洗浄・消毒方法



看護roo

環境整備（清掃・環境消毒）

環境整備・清掃実施状況確認

- 整理整頓
- 清掃状況、清掃用具の管理
- 手の良く触れる場所の清拭清掃・消毒

⇒頻度を増やす



看護roo

対策改善には時間を要するため、

マニュアル整備・教育など、対策を継続して実施できるよう支援が必要

VRE 患者・家族への説明Q&A集

対応中の施設の参考となるよう、患者・家族への説明Q&Aを集めました。
職員への耐性菌周知にも活用できます。

例)・VREってどんな菌ですか？（①、②、③、④）

人の腸内にいる一般的な細菌で腸球菌という菌があります。VREとは「バンコマイシン耐性腸球菌」の略称で、本来効くはずのバンコマイシンという抗菌薬が効かなくなった腸球菌のことです。

・家族にはうつりませんか？（①、②、③、④）

VREは長期にわたり腸内にとどまる可能性は高くなりますが、健康な家族であれば感染症を起こす可能性はほとんどありません。手洗いなどの基本的な感染対策を行うことが、最も有用であると考えられています。

・下痢をしているのですが、VREではないでしょうか？（①、②）

VREでの下痢をおこすことはありません。下痢を起こす他の病気（原因）を探す必要があります。医師にご相談ください。

・VREに感染していると言われました。退院後の日常生活はどうしたらよいのでしょうか？（①、②、③、④）

いままでどうりで大丈夫です。日常的に、以下の対策を実施していただければこの菌の予防対策のみならず、その他の感染症も予防できますので、自身の身を守るため・周囲の方たちを守るために習慣化しましょう。手洗い：食事前、トイレ後には石けんと流水で手洗いをしてください。入浴：出来るだけ入浴し、体を清潔にします（シャワーも可）。浴槽には体を洗ってから入るようにしましょう。食事：制限はありません。洗濯：便や尿で汚れがある場合は、下洗いを行ってから、他の家族の洗濯物と一緒に洗っても差し支えありません。よく乾燥させてください。

①「バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）に関する質問と回答」2019年12月10日 大和高田市立病院

https://ym-hp.yamatotakada.nara.jp/user/media/yamato_takada/pdf/NEWS/VREkaitou.pdf

②「VREに関するQ&A」富士市立中央病院 https://byoin.city.fuji.shizuoka.jp/annai/info/vre/documents/vre_qa.pdf

③「バンコマイシン耐性腸球菌感染症（VRE）に関するQ&A 2023.2.10 伊東市民病院

<https://ito-shimin-hp.jp/wp-content/uploads/2025/05/VRE%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8BQ-1.pdf>

④「バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）に関するご質問 谷津保健病院 https://www.yatsu.or.jp/20220517_qa.pdf